

【教育目標】  
心豊かな生徒  
自ら学ぶ生徒  
たくましい生徒

# 桐の里だより



令和元年12月号 三島町立三島中学長 関根 宏房  
三島中学校ホームページ URL <https://mishima.fcs.ed.jp/三島中学校>

## 1 未来を見つめ、力をつける授業 ～ 楽しい授業をめざして ～



10月から11月にかけて、今年度本校で取り組んでいる研究の検証授業を行いました。教育の世界では今、学校教育の指針である学習指導要領が、10年に1度の改訂の時期を迎えております。

人工知能AIやロボット、スマートフォンを含めたICT機器等、これらのめざましい発達に加え、異常気象や人口減少、少子高齢化の問題など、変化の激しい社会にあって、10年先の未来は予測不可能とも言われています。そんな10年先の未来に社会人として入っていくことになる今の中学生に、どのような資質・能力を育てなければならないのか、未来を見越しての教育が始められています。答えが一つとは限らない、何が正解なのかわからない問題が次から次に迫ってくる世の中において、その最善解を自分で考え見つけていく力が、子どもたちには求められます。そのためには、考えることを苦にせず、むしろ楽しむことができるようになるなければなりません。様々な情報や条件をもとに、考え、議論し、誰もが腑に落ちる答えを見つけ出す活動を、全ての教科で行っております。

## 2 全校討論会 令和元年12月12日(木) 5校時



新聞に掲載された「これまで普通に接していた友達が突話してくれなくなった」という女子高校生からの相談に対して、どんなアドバイスができるかを、全校生で考えディベート(立場を決めて討論し勝敗を決めるもの)しました。各学年での討論を経ての全校討論となりましたが、それぞれの経験値の違いもあり、様々な意見が出され、考えさせられた討論会となりました。ちなみに勝敗は「アプローチする」「新しい道へ進む」どちらの立場とも1対1で引き分けでした。

## 3 地域のみなさんに支えられています。(書道教室・合格祈願・街灯設置とバス乗車場所)



12月11日(水)、12日(木)の2日間、西方地区在住の山垣光英さんを講師としてお迎えし、書道教室を行いました。

毎年、三島町の子どもたちのために、基本的な筆の運びや、書に向き合う気持ちを教えて頂いております。各学年、書きぞめ展の課題(1年「海辺の光」2年「伝統工芸」3年「技術革新」)をご指導いただき、どの子も伸び伸びとして力強い字を書きあげていました。これから、冬休みの間、さらに練習をして、年明けにある書きぞめ展に出品します。



12月17日(火)に、西方地区在住の小松豊さんから、3年生の受験合格を祈願して、お守りと合格(五角)箸をいただきました。

小松さんは毎年、受験生となる3年生のために、合格を祈願し1本1本丁寧に箸をつくり、届けてくださいます。子どもたちには、「しっかりとご飯を食べて、受験で力を発揮してください。」というお言葉もいただきました。こういった地域の皆様のお気持ちを力にして、受験に向け頑張れるものと思います。

## 今日の1枚



学校から国道252号線までの通学路に街灯を設置していただきました。また、これまで役場前より乗車していた18時台のバスも学校前より乗車できるようになり、安心です。ご配慮に感謝いたします。



12月14日(土) 大俵カップ(坂下町) 見事3位入賞の金山・三島合同チーム